



明日の登別 知恵と汗で創る

地方分権が進展していく中、市民がいきいきと活動することができ、住むことに喜びを感じるまちを築きあげるには、市民との協働の取り組みが不可欠だ。登別市は、これまで市民自治の推進を図るため、市民との協働による、いろいろな方策を講じてきた。

例えば、審議会や市民会議、ワークショップを開くなどして、『登別市総合計画』『登別市まちづくりアクションプラン』『登別市まちづくり基本条例』

など、計画・条例策定に向けた取り組みを実施してきた。また、登別市が市制施行30周年を迎えた西暦2000年、この記念すべき年に、市内47団体が参加した『市制施行30周年・西暦2000年市民実行委員会』が1年間を通してさまざまなイベントを行った。これが、市民と行政の協働の取り組みに弾みをつけた。

さらには、市政を取り巻く環境がめまぐるしく変わる中、安心して暮らすことのできる住みよい環境を整えるため、『クリンクルセンター（ごみ処理施設）』や『葬斎場（火葬場）』『市民プール』などの整備を進めた。

総合計画の構成

基本構想

まちづくりの理念

(キャッチフレーズ)

人が輝き まちがときめく ふれあい交流都市 のぼりべつ

(理念)

自然と調和のとれた住空間、躍動する産業、観光客をあたたかく迎え入れるホスピタリティ、個性あふれる文化、豊かな人間性。

市民一人ひとりの価値観とライフスタイルが尊重され、豊かさと充実した生が実現できるまち。ここには世界の各地から人が集い、世界の情報が集まる。

そして、人が、モノが、情報が行き交い、活発な交流が生み出すエネルギーがまちにみなぎり、人々のぬくもりとふれあいを育てる。

5つのテーマ

やさしさと
共生するまち

自然とともに
暮らすまち

大地に根ざした
たくましい
産業が
躍動するまち

調和の中で
ふるさとを
演出するまち

豊かな個性と
人間性を
育むまち

4つの
視点

- ◇ 交流と連帯のまちづくり
- ◇ 調和と共生のまちづくり
- ◇ 創造と挑戦のまちづくり
- ◇ 共感と協働のまちづくり

登別市総合計画

総合計画は、これからのまちづくりを方向づけるものであり、『基本構想』と『基本計画』からなっている。

基本構想は、50年後のまちの姿、人の暮らしを市民みんなの意見を聞いて描いたもの、本市が目指す都市像。

